



## 進路のこと・模試のこと

個人面談の中で共通に話題になったことを二つほど紹介してみよう。

\*

先ず一つは、「進路がはっきり決まらない」という悩み。まあ、これはまだ仕方ない面もある。高校に入学して半年ばかり、そこから卒業後の進路を考え始めたのだから、そう簡単には決まらないのが当然なのである。とりあえず、小さい頃からの「夢」みたいなものや、今学習している科目の中で自分の好きな科目などをスタート地点として考えることになるわけだが、2年生になって新しい科目、例えば、物理や化学、世界史や倫理といった科目の学習が始まると、その科目が好きになるかも知れないし、国・数・英の三教科も、担当の先生が替わることで、その教科の新しい一面と出会えるかも知れない。だから、今決めろと言われても困ってしまうというのは仕方ないことなのである。

ただ、いろいろな情報を得ようという気持ちは持ち続ける必要があるし、いろいろな職業や学問に興味・関心をもって、何かのきっかけがあったら、それについてちょっと調べてみるといったアプローチをすることは大切である（この通信でも、そういう話題を提供しているつもりである）。何にしろ、最終的に進路を決めるのは自分自身なのだから、少しずつでも視野を広げる姿勢をもって、素直な気持ちで自分自身を見つめてもらいたいものである。

\*

もう一つは、「模試でいい点が取れない」という悩み。土曜日（2日）にも模試が予定されているわけで、この悩みも分からないではない。ただし、土曜日の模試は「学研ハイレベル模試」といって、私立の中高一貫校などがメインに参加するモノであるから、これまた当然のことながら？いい点は期待できないと思われる。しかし、現在の自分のできる範囲で全力でチャレンジしよう。

で、今「チャレンジしよう」と書いたが、どうチャレンジするのかといえば、今までで学校で学習してきたことを活用してチャレンジするわけである。だから、模試でいい点が取れない人というのは、「未見の新しい問題に弱い人」ではなくて、「既習の内容が確実に身につけていない人」なのである。授業で学習したことが上手に活用できない、つまり、確実に身につけていないということなのである。そこをしっかりと認識してほしい。

だから、模試ができるようになるためには、「初めて見る問題にチャレンジする練習を積む」ではなくて、「今までにやった問題を徹底的に復習して確実に自分のものにする」という勉強法を繰り返すしかない。

模試でいい点を取る必要はない。むしろ、いい点が取れたということは、自分の弱点が何も分からなかったということになるのだから、「金を返せ！」と言いたいくらいなものなのである。模試で悪い点を取ってそれを徹底的に復習する。その積み重ねが、最終的にはいい結果へと結びつくのである。